

北里大学校歌

生命の北辰

黛まどか 作詞
千住 明 作曲

3

7

13

19

25

31

38 3.

39

3

あらわす
朝な夕なに
あまたの星を従
ああ北里は
あほかい
あはくい
あゆうがの
わんくの
むおやち
わんくの
れとほほ
らせくく
ああ北里は
ああ北里は
あめらす
天地統べ
天に照る日に
虹かけて
あめらす
搖るぎなし
ああ北里は
耀く北辰

曉告げる産声は 牧場を渡る風に乗り
白波立つわだづみの 底にひしめく 命美し
雨に照る日に 虹かけて
天地統べ
天に照る日に 虹かけて
世に捧げるを 報恩とせり

この学び舎に励みしを 風雪に堪えいつの日か
月桂冠を戴きて 未来につないでゆく叡智
その絶巔を極めんと
切磋琢磨の 実学を
世に捧げるを 報恩とせり
拓きし道を 歩む我らぞ
雷のごと 貫いて

北里大学校歌
生命の北辰

作詞 黛まどか
作曲 千住 明